

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
機械設計科											
C A D設計実習 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	石鍋仁			実務 経験	有	職種	機械部品・製造装置の設計に従事				
授業概要											
CADシステムを実践的に活用し、設計演習により設計力を養成する。											
到達目標											
機械系 3 次元CADシステムの基本操作について理解し、様々な立体図形のモデリングができるようにする。またモデリングを通して立体図形の認識力を身につける。授業の中で学ぶCADシステム操作方法やモデリング手法を、機械エンジニアとして実践活用できるようにするとともに 3 次元CAD利用技術者試験 1 級試験合格をめざす。											
授業方法											
3 次元CADシステムを活用して、コンピュータリテラシやCADシステムの理解、様々な立体図形のモデリング手法を学びながら、機械部品等の図形作成をする。また、作成された図形をCAD上で組み立てることにより機械の構造などを理解する。											
成績評価方法											
試験・課題50%試験と課題を総合的に評価する。小テスト10%。レポート10%。成果発表（口頭・実技）20%。平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
CADシステムを使用し理解を深めて行くため、目標を達成出来ない場合や作業が間に合わない場合などは放課後等の時間を使用して行う必要がある。また、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、積極的に取り組み、協力しながら目標を達成することに心掛ける。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席（オンライン授業含む）しない者は評価することができない。											
教科書教材											
必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	応用操作 1 （ソリッドモデリング）各種コマンドの操作を理解し、モデリングができるようにする。										
第2回	モデリング演習 1 モデリング課題を通して各種モデリング手法を身につける。										
第3回	モデリング演習 2 モデリング課題を通して各種モデリング手法を身につける。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
機械設計科	
C A D設計実習 3	
第4回	モデリング演習3モデリング課題を通して各種モデリング手法を身につける。
第5回	応用操作2（アッセンブリ応用）各種コマンドの操作を理解し、アッセンブリしたパーツを可動することができるようにする。
第6回	モデリング演習4モデリング課題を通して各種モデリング手法を身につける。
第7回	モデリング演習5モデリング課題を通して各種モデリング手法を身につける。
第8回	応用操作3（図面作成）モデリングした立体図形に対して図面の作成方法を身につける。
第9回	モデリング演習6図面作成機能について理解し、図面を作成できる。
第10回	モデリング演習7図面作成機能について理解し、図面を作成できる。
第11回	総合演習1簡単な機械について作成し、課題を通してCADシステムの総合的な活用方法を身につける。
第12回	総合演習2簡単な機械について作成し、課題を通してCADシステムの総合的な活用方法を身につける。
第13回	総合演習3簡単な機械について作成し、課題を通してCADシステムの総合的な活用方法を身につける。
第14回	総合演習4簡単な機械について作成し、課題を通してCADシステムの総合的な活用方法を身につける。
第15回	総合演習5簡単な機械について作成し、課題を通してCADシステムの総合的な活用方法を身につける。